

診療担当医表

| | 2診 | 3診 | 4診 | 5診 |
|---|----|-----------------|-----------------|---------------------|
| 月 | 午前 | 竹本 範彦 | 藤永 泰宏 | 六浦 聖二 |
| | 午後 | 竹本 範彦 | 江川 徹 | 六浦 聖二 |
| 火 | 午前 | 竹本 範彦 | 門元 俊樹 | — |
| | 午後 | 竹本 範彦 | 小林 慎 | 門元 俊樹 |
| 水 | 午前 | 竹本 範彦 | 藤永 泰宏 | 六浦 聖二 |
| | 午後 | 竹本 範彦 | 江川 徹 | 六浦 聖二 |
| 木 | 午前 | 竹本 範彦 | 江川 徹 | 濱田 佳寿 (10時30分より) |
| | 午後 | 竹本 範彦 | 藤永 泰宏 第1休診 | 濱田 佳寿 第1休診 |
| 金 | 午前 | 竹本 範彦 | 藤永 泰宏 | 濱田 佳寿 |
| | 午後 | 山中 崇 第2休診 | 竹田 修司 第2・4休診 | 小林 慎 |
| 土 | 午前 | 竹本 範彦 第2・4休診 | 小林 慎 第2・4休診 | — |
| | 午後 | — | — | — |

| | |
|------------|-----------------------|
| 循環器内科 | 竹本 範彦・藤永 泰宏・竹田 修司 |
| 内科 | 六浦 聖二・上甲 忍・小林 慎・門元 俊樹 |
| リハビリテーション科 | 山中 崇 |
| 呼吸器内科 | 江口 誠一 |
| 消化器内科 | 江川 徹 |
| 内分泌内科・腎臓内科 | 濱田 佳寿 |

■診療時間
午前9時～午後5時30分
土曜日 午前中
■休診
第2・4土曜日
日曜日・祭日（急患はこの限りではありません）



● 当院の基本方針

地域住民の健康の増進を図り、信頼される病院を目指し地域医療に貢献いたします

1. 地域に根ざした医療

3. 患者様中心の医療

5. 健全な病院経営基盤の確立

2. 医療レベルの向上

4. リハビリテーション機能の充実

竹本病院 ご案内



交通案内

JR中村駅より



患者様の権利章典

当院では、ご利用の皆様へより良い医療をやさしく安全に提供し、納得のいく医療を受けていただけるよう、努力しています。そうした私達の医療活動の前提として、患者様には以下に掲げられるような、「患者様の権利」があり、私達医療従事者にはそれを守り発展させる義務があると考えています。

あなたには、人格を持った個人として尊重される権利があります。

あなたには、必要かつ最善の医療を平等に受ける権利があります。

あなたには、十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などを自らの意思で選択する権利があります。

あなたには、あらゆる医療記録に記録されたご自分に関する情報の提供を求める権利があります。

あなたの医療上の個人情報、およびプライバシーは保護される権利があります。

竹本病院 広報 第24号 2012年 4月発行
〒787-0015 高知県四万十市右山 1973番地2
電話:0880-35-4151 FAX:0880-35-4155
E-mail: th-takemoto@poem.ocn.ne.jp 発行・編集:経営管理課



<http://www.12.ocn.ne.jp/~takemoto>

詳しい情報については、ホームページでご覧下さい。

第24号
竹本病院 広報紙

菜の花だより



ワーク・ライフ・バランス ～仕事と生活の調和～



ワークライフバランスとは

勤労者が「仕事」と「生活」のどちらか一方だけでなく、ともに充実感をもてるように双方の調和を図ること。日本での取り組みのきっかけは少子化対策でしたが、今では「生活」＝子育てや家事などの家庭生活に限定していません。性別、年齢に関係なく、趣味や学習等含めた様々な活動として考えられています。また仕事と生活の両立は人が人らしく安心して働き生活する為の大切なテーマです。

ここで少し申し上げておきたいのは「ワークライフバランス」とは「仕事」を軽視することではありません。優秀な人材の確保と定着を図り、能率的に良い「仕事」を行ってもらい、企業イメージを高めるための積極的な経営戦略の一つです。スタッフの多様な価値観やニーズを大切に、「子育て支援」にとどまらず、家族の介護、健康づくり、休養、ボランティア、地域活動、趣味、学習などスタッフの充実した生活が、よい仕事を生み出す原動力になります。

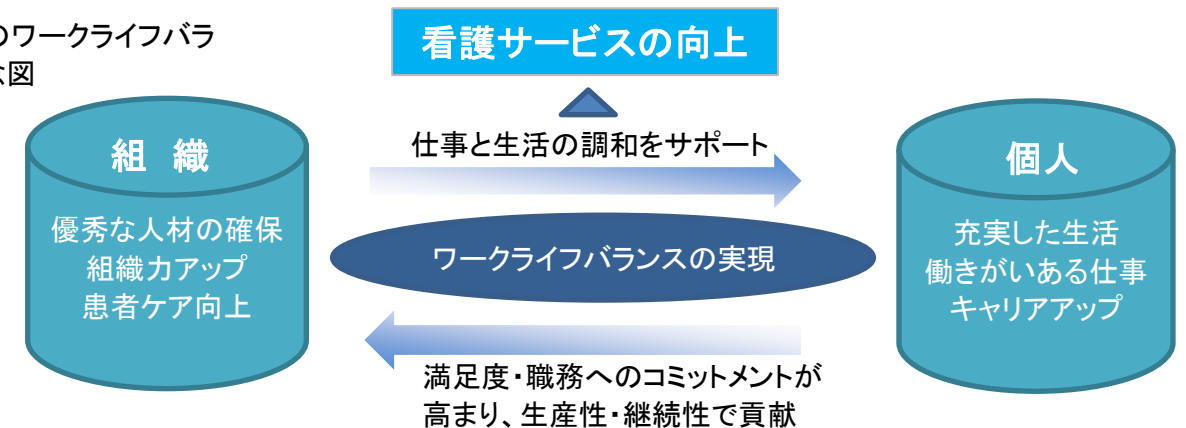
当院では昨年より、都道府県看護協会と日本看護協会が協働で平成22年にスタートさせた、地域を主体に看護職が働き続けられる職場づくりの為に活動を全国的に展開する『看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ』へ参加しています。ワークショップへ参加することで見えてきた課題もあり、労働環境の整備、職員の教育プログラムの再構築、看護ケアの質の向上などの取り組みにより職員の働きやすい職場作りへ繋がると考えています。その中で、育児支援に関する制度を利用している職員の声をご紹介します。

私は小学校3年生、2年生、2歳の3人の男の子を育てています。
上の2人の時は、子供が1歳になったら勤務時間通りに仕事を行い、また回数は少ないものの夜勤もしていました。今回、夜勤を行うこともパートナーに負担がかかる事、そして子供にもしわ寄せがいろいろいくと思いい、3人の子供の子育てと仕事を両立する為、**時間短縮勤務**と**夜勤免除**の制度を利用することにしました。スタッフ、上司には迷惑をかけることも多々あり、心苦しいですが、看護師という自分のやりたい仕事をしながら、仕事を早めに終われることで子供のお迎えにも行けるようになり、日々の状況をみながら子育てできているので、とても充実している毎日です。



1A病棟 看護師 田上 真実

●看護職のワークライフバランス概念図





地域支援室 松田利恵

平成23年10月27日より熊本市で行われたリハビリテーション・ケア合同研究大会に参加した感想を記述させていただきます。

リハビリテーション・ケアのこれまでの流れや、地域リハを知る事により、基本となるリハマインドについて再考するという内容でした。

今回の大会に参加し、リハマインドについて再考する事により回復期リハビリテーションの質の向上につなげていきたいと思えます。

リハマインドについてですが、患者様の「良くなりたい」ということに対し自分達が何が出来るかを考える事だと思えます。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカーのシンポジストからリハマインドを一言で言えば、全受容、心と言葉、生きる事を伝える等が挙げられました。

支援していく過程で、各専門職として立場は違っても基本となるリハマインドにおいて共通するものは同じであり、日々の業務の中でリハマインドを忘れてはいけないと思えました。

次にセルフケアの構築というテーマでシンポジウムが行われ、急性期病棟、回復期病棟、慢性期病棟の立場から看護師の方々からの意見を聞く事が出来ました。

急性期病棟の脳外科では約10日間程の入院であるが、その中で患者様がどうなりたいか、せめて回復期病棟へ情報が欲しい。ポジショニングや二次障害、心理的な情報等があればということも急性期病棟への要望として挙げられていました。在宅へ帰るにあたり、医療的な情報（機能面）だけでなくケア面での情報も必要であるということでした。

急性期病棟から回復期病棟、慢性期病棟においてケア面で患者様が混乱しない状況で指導していくことも大切な点だと思われれます。（例えばインスリンなど）

看護介入に関して、ロイ適応看護モデルを基盤として取り組んでいる施設がありました。

看護師なら看護理論を勉強させているので、よく理解出来たと思えますが、私は理論について詳しく説明出来ませんが、実践で行っていることは患者様が得意とする事を行う。（例えば得意とする編み物をする事により障害がある患者様の注意が持続した）ポータブルトイレの周囲にテープでマーキングをすることにより、転倒のリスクが減ったなどの報告がありました。

慢性期病棟では、試験外泊、外出を行い、医師をはじめチームで集まり評価していくという事を行っている施設もあり重要なのは患者様と目標を共有するという点でした。

その施設は、一時退院を行っていて、ベッドは空床のままにしておき、退院後1週間してアセスメントを行っていくという報告もありました。しかし問題となる点は、ベッドを空床のままにしないといけないので、ベッド数の問題などがある為、現実的には難しいなと思う点もありましたが、患者様と目標を共有しチームで集まり、在宅での評価をしていくという点は重要であると感じました。

【セルフケアの再構築とは人がよりよく生きていく事を検討していくこと】であり【看護理論はアセスメントの視点】ということでした。

高知県は他県と比べ回復期リハビリテーション病床数が多く、入院患者数の確保においては、急性期病院との連携はもちろん、回復期病棟の質を上げていかなければいけないと思えました。質を上げる為には新たな取り組み、現在行っている取り組みの評価、見直しが必要であると思えます。

西広島リハビリテーション病院では、リハビリテーションマネージャーを採用し、入院前から退院後まで関わりを持ち、マネジメントを行っていて、急性期から在宅まで関わりがありました。急性期から在宅まで関わりがあるということは在宅を知っているということです。

やはり、退院後の状況を知らない入院中の取り組みが出来ないと思えました。



常勤医師

診療科 : 内科 出身地 : 京都
出身校 : 香川大学 趣味 : 読書(新聞)
診察日 : 火曜日(午後)・金曜日(午後)
第1、3、5土曜日

自己PR : 全力で頑張ります。宜しくお願い申し上げます。

小林 慎
(こばやし まこと)



非常勤医師

診療科 : 内分泌代謝、腎臓病内科 出身地 : 京都
出身校 : 高知大学
趣味 : なし(趣味を探しているのですが、困ったことになかなか見つかりません)
診察日 : 木曜日(午前/午後)・金曜日(午前)

自己PR : 4月から島村の後任で参りました濱田と申します。毎週汽車から見える風景に癒されながらこちらに通わせて頂いております。中村に来たことは初めてですが、温かな土地柄で、また優しい人柄にあふれており、本当に良いところだと実感しております。どうぞ、よろしくお願いたします。

濱田 佳寿
(はまだ かず)

- | | |
|--|--|
| 小林 富則(こばやし とみのり) 出身校: 静岡県立大学 部署: 薬剤科 職種: 薬剤師 | 櫻田 裕子(さくらだ ゆうこ) 出身校: 黒潮医療専門学校 部署: 看護部 職種: 看護師 |
| 岡村 朱里(おかむら じゅり) 出身校: 黒潮医療専門学校 部署: 看護部 職種: 看護師 | 濱口 真帆(はまぐち まほ) 出身校: 高知リハビリテーション学院 部署: 看護部 職種: 看護補助 |
| 池上 貴和(いけうえ きわ) 出身校: 黒潮医療専門学校 部署: 看護部 職種: 看護師 | 岡本 愛樹(おかもと あいき) 出身校: 高知リハビリテーション学院 部署: リハビリテーション科 職種: 理学療法士 |
| 本山 貞治(もとやま さだはる) 出身校: 黒潮医療専門学校 部署: リハビリテーション科 職種: 理学療法士 | 岡村 慎也(おかむら しんや) 出身校: 大阪物療専門学校 部署: リハビリテーション科 職種: 理学療法士 |
| 宮崎 舞(みやざき まい) 出身校: 土佐リハビリテーションカレッジ 部署: リハビリテーション科 職種: 理学療法士 | 岡本 知穂(おかもと ちほ) 出身校: 高知リハビリテーション学院 部署: リハビリテーション科 職種: 作業療法士 |